



Title	ChatGPT Plus 体験者のレポート
Author(s)	三隅, 健一; 森, 菜摘; 佐々木, 詠梨; 山田, 恵里; 得能, 由貴; 有安, 友美; 中島, 司典; 工藤, 茜; 河野, 由香里; 佐々木, 翼; 堀越, 邦恵; 原, 亜喜子
Issue Date	2024-02-21
Doc URL	<a href="http://hdl.handle.net/2115/91307">http://hdl.handle.net/2115/91307</a>
Type	report
Note	国立大学図書館協会地区協会助成事業北海道地区協会令和5年度企画事業「Chat GPTを使い倒そう」令和6年2月21日(水)13:20-16:10.北海道大学附属図書館本館4階大会議室.主催:国立大学図書館協会北海道地区協会.登壇者以外によるレポート.
Additional Information	There are other files related to this item in HUSCAP. Check the above URL.
File Information	5_Sasaki.pdf (北教大・佐々木詠梨_ChatGPT体験レポート)



[Instructions for use](#)

# ChatGPT Plus 体験レポート

2024/1/30

北海道教育大学・佐々木 詠梨

# 役立つと思われる事例①

## 概要

英語多読を勧めるホームページ掲載記事を書いてもらった。会話を進める中で、「英語多読推進のためのイベントのアイデア」「英語に苦手意識を持つ学生を巻き込むアイデア」についても尋ねてみた。

## 入力例



あなた

あなたは大学図書館職員です。大学生に、英語多読を進めたいと思っています。ホームページに掲載する記事を書いてください。キャッチコピーもつけてください。

## 回答例



ChatGPT

もちろんです。以下に、大学図書館のホームページ用の記事案を提案します。キャッチコピーも含めています。

キャッチコピー:

「英語多読で世界を広げよう！あなたの学びをサポートします」

記事タイトル:

大学生のための英語多読プログラム：新しい学びの扉を開こう

本文:

こんにちは、[大学名]図書館の皆さん！英語力を伸ばし、新しい世界を発見する素晴らしい方法があります。それは「英語多読」です。英語多読は、楽しみながら英語の読解力を向上させる効果的な学習法です。そして、私たちの図書館は、あなたの多読の旅を全力でサポートします！

なぜ英語多読なのか？

- **語彙力の向上:** 多読を通じて、自然な文脈で新しい単語や表現に触れることができます。
- **文法理解の深化:** 実際の文章を読むことで、文法が自然に身につきます。
- **読解力の強化:** 様々なジャンルのテキストに触れることで、読解力が飛躍的に向上します。
- **楽しみながら学習:** 興味のあるトピックや物語を読むことで、学習が楽しくなります。

図書館でできること

- **多読用の書籍:** 初級から上級まで、幅広いレベルの多読用書籍を取り揃えています。
- **読書ガイド:** あなたのレベルや興味に合った書籍を選ぶお手伝いをします。
- **読書会やワークショップ:** 定期的に行われる読書会やワークショップに参加して、仲間と一緒に学びましょう。

一歩を踏み出そう

今日から始める英語多読で、あなたの英語力を新たなレベルへと引き上げましょう。図書館はいつでもあなたの学びの場です。一緒に英語の世界を広げていきましょう！

この記事案が役立つことを願っています。必要に応じて、大学や図書館の具体的な情報を追加してください。

# 役立つと思われる事例①

## 入力例



あなた

英語多読を推進するための、イベントについて案を出してください。図書館で実施します。

## 回答例



ChatGPT

英語多読を推進するための図書館イベントの企画案をいくつかご提案します。これらのイベントは、学生たちが英語の読書に興味を持ち、参加を楽しむことができるように設計されています。

### 1. 多読キックオフイベント:「英語多読の夜」

- **概要:** 英語多読プログラムの開始を告げるイベント。多読の利点、方法、おすすめの書籍の紹介。
- **活動:** ゲストスピーカーによる英語多読の効果に関する講演、多読体験者の体験談、多読用書籍の展示。
- **目的:** 多読への興味を喚起し、プログラムへの参加を促す。

### 2. テーマ別読書会:「世界を旅する多読」

- **概要:** 毎回異なる国や文化をテーマにした読書会。
- **活動:** 選ばれた国に関連する英語の書籍を読み、ディスカッションを行う。文化交流の要素を取り入れる。
- **目的:** 多読を通じて異文化理解を深める。

### 3. 多読チャレンジ:「読書マラソン」

- **概要:** 期間限定で、最も多くのページ数または冊数を読んだ参加者に賞を授与するチャレンジ。
- **活動:** 読書ログの提出、進捗の共有、オンラインフォーラムでのディスカッション。
- **目的:** 多読の量を増やし、参加者間の健全な競争を促す。

### 4. ワークショップ:「多読で学ぶ英語表現」

- **概要:** 英語の表現や語彙を学ぶためのワークショップ。
- **活動:** 小グループでの読書、ディスカッション、語彙や表現の解析。
- **目的:** 実践的な英語学習として多読を利用する。

### 5. オンラインブッククラブ:「バーチャル多読サークル」

- **概要:** オンラインでの読書クラブを設立し、遠隔地にいる学生も参加できるようにする。
- **活動:** 定期的なオンラインミーティング、フォーラムでのディスカッション、読書感想の共有。
- **目的:** コミュニティを形成し、多読を継続するモチベーションを提供する。

これらのイベントは、学生たちが英語の読書を楽しみながら、言語能力を向上させるためのものです。イベントの企画には、参加者の興味やニーズを考慮し、多様な活動を取り入れることが重要です。

# 役立つと思われる事例①

## 入力例



あなた

英語に苦手意識を持つ学生を巻き込むアイデアをお願いします

## 回答例



ChatGPT

英語に苦手意識を持つ学生を巻き込むためのアイデアをいくつかご提案します。これらのアプローチは、英語学習へのハードルを下げ、学生が自信を持って参加できるように設計されています。

### 1. 英語カフェイベント

- **概要:** カジュアルな雰囲気の中で英語を使う機会を提供する「英語カフェ」を開催します。コーヒーや軽食を楽しみながら、リラックスした環境で英語の会話を楽しむことができます。
- **目的:** 英語を「学ぶ」のではなく「使う」ことに焦点を当て、プレッシャーを減らします。

### 2. ピアサポートプログラム

- **概要:** 英語が得意な学生が、苦手意識を持つ学生をサポートするペアを作ります。共に学習することで、苦手意識を持つ学生は安心感を持って学習に取り組むことができます。
- **目的:** 学生同士のサポートを通じて、学習へのモチベーションを高めます。

### 3. ゲームやアクティビティを取り入れた学習

- **概要:** 英語のビンゴ、スクラブル、ロールプレイなど、ゲームや楽しいアクティビティを通じて英語を学ぶ機会を提供します。
- **目的:** ゲームを通じて、学習の楽しさを伝え、英語に対する苦手意識を和らげます。

### 4. 英語映画やドラマの鑑賞会

- **概要:** 英語の映画やドラマの鑑賞会を定期的に開催し、その後にディスカッションを行います。字幕を利用して理解を助けます。
- **目的:** エンターテインメントを通じて英語に親しみを持ち、自然な形で言語に触れる機会を提供します。

### 5. ストーリーテリングや朗読会

- **概要:** 英語の短い物語や詩の朗読会を開催します。参加者はリスニングに集中するだけでなく、自分で読む機会も持ちます。
- **目的:** 英語のリズムや音の美しさを感じることで、言語への興味を引き出します。

### 6. 英語日記やブログの作成

- **概要:** 日常生活での小さな出来事を英語で日記やブログに書く活動を奨励します。
- **目的:** 実生活と結びつけることで、英語をより身近なものとして捉えるようにします。

これらのアイデアは、英語学習をよりアクセスしやすく、楽しいものに変えることを目的としています。学生が英語を学ぶことに対する恐れや不安を克服し、自信を持って学習に取り組むことができるようにすることが重要です。

## ポイント


- 掲載記事は、利用者に呼びかける表現が多用されていて、親しみが感じられてよいと思った。
- アイデア出しでは、「オンラインブックサークル」や「英語カフェイベント」など、こちらが想定していなかった回答があり、視野を広げるのに役立つと感じた。
- アイデア出しにはかなり有効ではないかと感じた。

# 注意が必要と思われる事例①


## 概要

以前、一般の利用者からレファレンスのあった質問について、尋ねてみた。

## 入力例


 あなた  
30年ほど前の日本の国語の教科書で松谷みよ子さんの「冬の道」という物語を読みたいのですが、出版者や出版年はわかりますか？


## 回答例

 ChatGPT  
使用した VoxScript

「冬の道」に関する具体的な情報は見つかりませんでしたが、松谷みよ子さんに関する情報はいくつかあります。松谷みよさんは1926年2月15日に生まれ、2015年2月28日に亡くなった日本の児童文学作家です。彼女の作品は多く、特に「いないいないばあ」は2020年11月24日時点で339刷700万部を出版し、絵本の歴代発行部数1位となっています。

しかし、残念ながら「冬の道」の出版者や出版年に関する具体的な情報は見つかりませんでした。この物語が含まれている教科書や出版物についての詳細は、松谷みよ子さんの作品リストや児童文学に関する専門の資料を参照する必要があるかもしれません。また、図書館や古書店での検索も有効な手段です。

 あなた  
「冬の道」の作者は？

 ChatGPT  
「冬の道」の作者は、日本の児童文学作家である松谷みよ子さんです。彼女は多くの児童文学作品を手掛けており、その中に「冬の道」という作品も含まれています。松谷みよさんは1926年に生まれ、2015年に亡くなりました。彼女の作品は、子どもたちに長く愛され続けています。

## ポイント

実は「冬の道」の著者は岡野薫子さんであり、松谷みよ子さんではなかった。この後「冬の道」の作者を尋ねたところ、「松谷みよ子さんです」との回答。。利用者が求める回答は生成されず・・・-----本学の回答は以下のとおり-----

お問い合わせの件につきまして、いただいた情報をもとに調べてみました。  
「読んでおきたい名著案内教科書掲載作品」（日外アソシエーツ、2008）および「松谷みよ子全集」（講談社 1972年刊）の著作年譜から松谷みよ子の該当の作品の有無を確認しましたが見つけることができませんでした。  
上記「読んでおきたい・・・」で作品名「冬の道」で調べましたところ、教育出版「改定小学国語4下」1986に「冬の道」岡野薫子がありました。もしかして岡野薫子さんではないでしょうか？・・・(略)・・・札幌市中央図書館に所蔵があるようです。

後日「岡野薫子さんでした！中央図書館で読めました」との回答がありました。